

スプロッテ脊椎麻酔針

再使用禁止

JPJF0083

【禁忌・禁止】 使用方法 ・再使用禁止

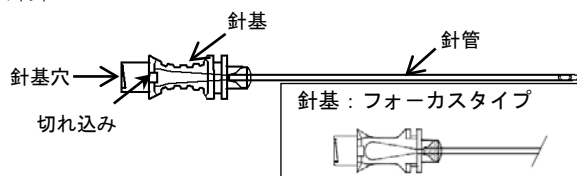
【形状・構造及び原理等】

本品は外針、内針及びガイド針(導入針)からなり、針さやが付属する。本品には外針針基の内部が見やすいフォーカスタイプ、また、ガイド針が含まれないタイプがある。

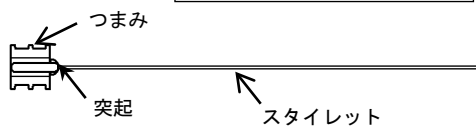
なお、内針のつまみは、外針外径を示すカラーコードで表示されている。

＜構成品形状＞

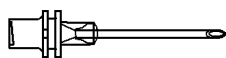
1. 外針



2. 内針



3. ガイド針



※＜外針の外径、長さ及び内針つまみのカラーコード＞

外径	長さ	カラーコード
22G (0.70mm)	70mm、90mm	ブラック
24G (0.55mm)	70mm、90mm	バイオレット
25G (0.50mm)	70mm、90mm	オレンジ
27G (0.40mm)	70mm、90mm	グレー
29G (0.33mm)	90mm	レッド

＜材質＞

	名 称	原 材 料
①	外針	針管：ステンレス 針基：ポリカーボネート
②	内針	スタイレット：ステンレス つまみ：ポリカーボネート
③	ガイド針	針管：ステンレス 針基：ポリカーボネート
④	針さや	ポリエチレン

【使用目的又は効果】

本品は脊髄くも膜下への麻酔薬又は鎮痛薬の投与及び髄液の吸引・採取に使用する。

【使用方法等】

1. ガイド針を使用する場合(ガイド針付)

- 1) 穿刺部位の皮膚を消毒し、局所麻酔を行う。
- 2) 包装から製品を取り出し、ガイド針から外針及び内針を抜き、内針が入ったまま外針を清潔区域に置く。
- 3) ガイド針から針さやを取り除く。
- 4) 左中指と人差指で棘突起をはさみ、椎間のほぼ中間を垂直にガイド針を穿刺する。
- 5) 内針をセットしたまま、外針をガイド針に通す。
- 6) 硬膜を貫通したら内針を抜き、髄液の逆流を確認する。
- 7) 麻酔薬等を充填したシリンジを外針の針基穴に接続する。

8) シリンジのプランジャーを引き髄液が逆流するのを確かめたのち、麻酔薬等を注入する。

9) ガイド針及び外針を抜去する。

2. ガイド針を使用しない場合(ガイド針なし)

- 1) 穿刺部位の皮膚を消毒し、局所麻酔を行う。
- 2) 包装から内針が入ったまま外針を取り出し、針さやを取り除く。
- 3) 左中指と人差指で棘突起をはさみ、椎間のほぼ中間を垂直に外針を穿刺する。
- 4) 硬膜を貫通したら内針を抜き、髄液の逆流を確認する。
- 5) 麻酔薬等を充填したシリンジを外針の針基穴に接続する。
- 6) シリンジのプランジャーを引き髄液が逆流するのを確かめたのち、麻酔薬等を注入する。
- 7) 外針を抜去する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・外針を挿入又は穿刺する場合、針基の切れ込みに内針つまみの突起を合わせ、外れないように一体に把持して使用すること。
- ・挿入中に異常な感触を感じた場合は無理に挿入しないこと。[椎骨に接触した、あるいは椎間が狭いなどの原因が考えられ、針が変形、破損している恐れがある。]
- ・硬膜を通過したら脊髄を傷つけないよう慎重に進めること。

【使用上の注意】

＜不具合・有害事象＞

本品の使用に伴い、以下の不具合又は有害事象を生じる場合がある。

1. 不具合
 - ・針管の破損並びに変形
 - ・針基の破損とそれによる液漏れ
2. 有害事象
 - ・血圧低下
 - ・徐脈
 - ・悪心、吐気、嘔吐
 - ・体温低下
 - ・尿閉(膀胱内尿貯留)
 - ・頭痛又は背部痛
 - ・脊髄神経損傷
 - ・感染症

【保管方法及び有効期間等】

※＜保管の条件＞

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること

＜有効期間＞

- ※・包装の使用期限欄を参照[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社ジェイエスエス
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-3751

■外国製造所

パユンク社
(Pajunk GmbH Medizintechnologie)
ドイツ

お問い合わせ先



株式会社 インターメド ジャパン

TEL:06-6222-1951